

| | | | |
|-----|----------|------|-------|
| 事業名 | 補助砂防事業 | 路線名等 | 桃俣(口) |
| 箇所名 | 宇陀郡御杖村桃股 | | |

| | | | | | |
|-------|------|---|--------|--------|-------|
| 事業の概要 | 目的 | 「奈良県土砂災害対策基本方針」 Ⅱ 防災上重要施設(避難所、災害時要援護者関連施設)の先行的保全 代替性のない避難所(桃股多目的研修センター) | | | |
| | 事業内容 | 延長 : 約350m 工種 : 擁壁工、法面工 重要保全対象 : 桃股多目的研修センター | | | |
| | 着手年度 | 平成24年度 | 完成予定年度 | 平成26年度 | 全体事業費 |

| | | |
|------------|------------------------------|---|
| 評価 | 事業の必要性 | 当該箇所は、奈良県中部の御杖村に位置し、がけ高さ45m、勾配40°の急傾斜地である。保全対象として地域防災計画に位置付けられている避難所(桃俣多目的研修センター)、春日神社、宿泊施設が含まれる。 今後の集中豪雨により斜面の崩壊等危険性が懸念されるため、早急に崩壊防止対策を実施する必要がある。また、防災訓練を実施する等地域住民の防災意識も高い。 |
| | 上位計画等 | 奈良県土砂災害対策基本方針 |
| | 事業の有効性 (事業により予想される効果及び影響) | 代替性のない避難所(桃股多目的研修センター)を保全することにより、土砂災害の危険度が高まった際に周辺地域住民に対して安全な避難所を提供できるようになり、地域の安全度向上を図れる。 |
| | コスト縮減への取組み | |
| | 地元情勢等 | ①平成23年5月 土砂災害に関する防災訓練を実施。 ②平成23年8月 御杖村及び宇陀土木との協議により、当初「代替性のない避難所」として事業予定していた神末中央集落センターとの入替で桃俣多目的研修センターを事業化の方針に変更。 |
| 他計画他事業との関連 | | |

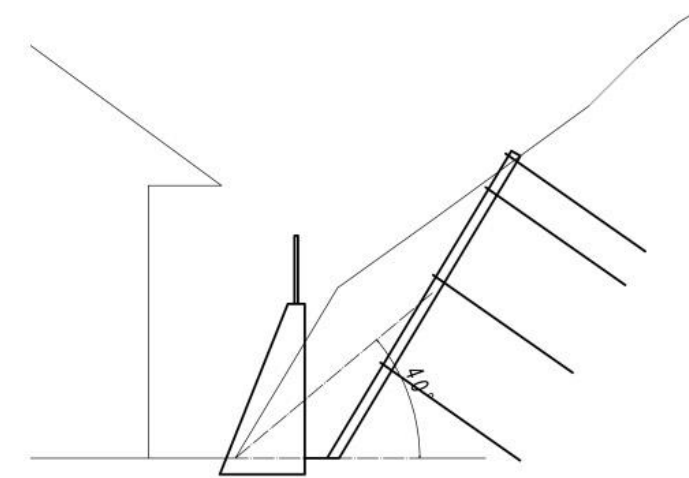
| | |
|----------------|---|
| 評価結果 | 左の理由 |
| 採択 (付帯条件付き) | 奈良県土砂災害基本方針に基づく事業であり、緊急性も認められるため採択とする。 ただし対策範囲については地区全体ではなく、奈良県土砂災害基本方針に基づいた変状・前兆箇所、代替性のない避難所・24時間入居している要援護者関連施設の保全及び避難計画等に必要最低限の範囲とする。また、施設移転についても継続的に協議を行うこととする。 |

【位置図】



この地図は国土地理院の5万分の1を転載(奈良県道路網図平成20近複第7号)

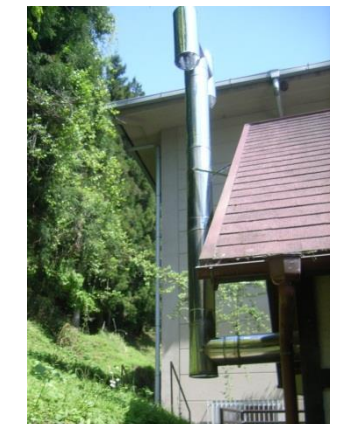
【標準断面図】



【保全対象】



【斜面状況】



H23.5.15 防災訓練実施

保全対象と斜面状況